

令和5年度 標準化活動貢献者および組織表彰の受賞について

2024年3月29日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所の職員および関係組織が、「令和5年度標準化活動表彰 貢献者・組織表彰」を受賞しましたのでお知らせいたします。この標準化活動表彰は、鉄道分野における標準化活動の重要性認識の増進を目的として、鉄道技術標準化調査検討会（委員長：大崎博之 東京大学大学院教授）が、国際標準化および国内標準化活動に貢献した個人および組織に対して授与するものです。なお、表彰式は、3月22日（金）に、東京都千代田区（主婦会館プラザエフ）において行われました。

記

○令和5年度標準化活動表彰 貢献者表彰

鉄道分野における国際標準化および国内標準化活動に関し、顕著な業績を挙げたと認められる者に授与するものです。

受賞者：鉄道国際規格センター 次長 横山 信行

【主な業績】（国土交通省発表）

ISO/TC 269/WG 5(RQMS：鉄道品質マネジメントシステム)において国際エキスパートを務め、鉄道業界全体に影響を及ぼすと予想される課題の検討に積極的に参画し、ISO 22163(鉄道品質マネジメントシステム)に日本の事情を反映させることに貢献した。また、IEC/TC 9/MT 62888(車上エネルギー測定)において国際エキスパートを務め、国内の専門家の意見の取りまとめや、国際会議での他国エキスパートとの交渉に尽力し、IEC 62888 シリーズの改訂に大きく貢献した。

受賞者：鉄道国際規格センター 担当部長 芳賀 昭弘

【主な業績】（国土交通省発表）

長年にわたり、車両分野全般に関わる国際エキスパートとして、規格審議および策定に貢献した。ISO/TC 269/AHG 7(マイグレーション戦略)メンバーとして日本の意見を主張し、適切な運営に導くことに貢献するとともに、ISO/TC 269/SC 2/WG 7(脱線検知装置)、IEC/TC 9/MT 61373(振動衝撃試験)、ISO/TC 269/SC 2/WG 4(車両のリサイクル性及び回収性)、IEC/TC 9/MT 61133(営業投入前の完成車両の試験方法)等、多数の規格審議の場に国際エキスパートとして参加し、日本の鉄道技術の国際標準化に貢献した。

○令和5年度標準化活動表彰 組織表彰

鉄道分野における国際標準化又は国内標準化活動に寄与し、他の模範となる優良な取り組みを行ったと認められる組織に授与するものです。

受賞組織：公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道国際規格センター 人材育成ワーキンググループ

【主な取組】（国土交通省発表）

鉄道分野における国際標準化活動を戦略的に進めるために必要な情報を提供するセミナーを新規に企画・開催し、国際標準化活動に関する専門的な知識や戦略的に進めるための情報を提供することに貢献した。また、IEC・ISO 等における過去の審議の経験や教訓等を題材として、鉄道分野に特化した自主教材を新規に作成し、グループワークに取り組みなど、鉄道分野の標準化人材の育成に貢献した。

なお、上記のほかに、「RAMS 規格改訂作業部会」および「RQMS 規格解説書 WG」においても、当研究所の職員が同組織の一員として組織表彰を受賞しました。



写真 令和5年度標準化活動表彰 貢献者表彰を受賞した
芳賀 昭弘 担当部長（左）と横山 信行 次長（右）



写真 令和5年度標準化活動表彰 組織表彰を受賞した
公益財団法人鉄道総合技術研究所
鉄道国際規格センター 人材育成ワーキンググループ